

提案団体名： JR東日本 モビリティ変革コンソーシアム

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
1. ICTを活用した回遊（寄り道）促進とエリア混雑緩和によるエリアマネジメントの検討 2. 自転車ツーリズムを活用した地域活性と地方創生のエコシステム形成の検討 3. 地方中核都市でのビッグデータ取得による課題把握と、ICT生活スタイルの模索 4. センサ取得データの解析による、建物内快適性向上と、アセットマネジメント最適化の両立 5. マイクログリッド・新技術等を活用した再生エネルギー融通によるエキとマチのエネルギーの効率化 6. エキ・マチのシームレスなセキュリティ連携の高度化 7. 災害時におけるレジリエントな情報拠点としてのエキの在り方 8. ITS時代における鉄道踏切安全性の向上	(1) (2) (3)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
1. オリンピック・パラリンピック、スポーツイベント・コンサート等のピーク時におけるエリアと最寄駅の混雑緩和、回遊促進におけるエリア経済の活性化向上と行動変容を促す仕掛け作り 2. 観光資源があるものの、2次交通の無い地域での自転車を活用した新しいツーリズムの提案 3. 典型的な少子高齢化を課題とする地方都市におけるビッグデータを活用した課題の見える化とICTを活用した生活スタイルの検討 4. 建物内の快適性向上とエネルギーコスト削減の両立によるアセットマネジメントの新しい提案 5. 再生可能エネルギー等を活用したエネルギー運用の最適化と、エキとマチにおけるエネルギーの補完 6. 複数のビルや駅にまたがるセキュリティの在り方とICTを活用した安全性向上の検討（セキュリティに関するエリアマネジメント） 7. 大規模災害時における安全性確保に資する情報及びその配信技術の検討と、災害時における情報拠点としての駅の在り方 8. 自動運転車への踏切の適切な情報配信と、受信情報を基にしたITS時代における自動運転車の安全運行マネジメントの検討	ア、イ、ウ、オ、ケ

(3) その他

○部局名・担当者・連絡先（電話及びメール）

部局名	担当者	連絡先（電話）	連絡先（メール）
東日本旅客鉄道株式会社 技術イノベーション推進本部	森 伊織	03-5334-1136	i-mori@jreast.co.jp
株式会社日本総合研究所 (コンソーシアム事務局)	船田 学	03-6833-6364	funada.gaku@jri.co.jp